

水害を経験した豊岡

豊岡北中学校二年

石山

結

去年の十月に水害を経験しました。天気予報を見ていて少し心配になつていました。

水が家の中に入つてきた時は夜おそくて、私は一人で寝ていました。朝起きて玄関を

見てみると水がいっぱい入ってきていました。その時は、玄関きりきりでした。窓を開けて

みてみると、家の周りが泥水でいっぱいになりました。ていきました。その水の中にはゴミ箱など、

いろんなゴミが流れ着いていました。私はその時、このゴミはどこに行くのか不思議でした。そして、その日の昼ごろに、私の家の前

に車を停めていた人が二人くらいいて、その人たちに、おにぎりを作つてあげて、持つて

いきました。その人達はとても喜んでいて、私たちもうれしくなりました。水害から何日

か、たつた頃おにぎりをあげた人が、お花をもつてきてくれました。その時に、私は改め

て人と人のつながりというものを感じました。

私の家は玄関だけで、二日ほどするとすぐ
 にひきました。でも、私の父の工場がニメー
 トルくらい水がつかってしまいました。水害
 から三日くらいたったと父の工場まで水の中を
 歩いていて、みんなの手伝いました。大阪か
 ら来てくれたおじさんもいます。親せきも来
 てくれました。その工場はどこを見ても泥
 だらけでした。何もかもが泥でうもれてい
 ました。壁を見てみると水の跡がありました。
 すごく高かったです。私は、ずくと見上げて

いました。台風一つでこんなになるなんて、
 と思いました。こんな気持ちのまま、泥の掃
 除を始めました。チヨコシートみたいな感じ
 でした。チヨコシートの家の様な工場は、一
 生忘れなれないと思います。

この水害で、つらい事もあったし、これが
 ら元の豊岡になるのか、不安だったけど、水
 害を通して、人と人とのつながりや、人の温
 かさなどいろいろな事が学べたと思います。こ
 の事はみんなが絶対に忘れてはいけないうこと

た
と
思
い
ま
す。
。